

コンゴ(民)月例報告
政治関連
2016年3月

主な出来事

- ナンガーCENI 委員長が、大統領選挙の憲法期限内(11月27日までの)実施は困難と宣言
- 州知事・副州知事選挙の暫定結果が発表。州知事当選者20名のうち15名を大統領多数派(MP)が占める
- 21日、国際刑事裁判所(CPI)が、ジャン=ピエール・ベンバ被疑者に人道に対する犯罪及び戦争犯罪で有罪判決
- 野党プラットフォーム G7 が、モイズ・カトゥンビ前カタンガ州知事に、同プラットフォーム統一候補として、大統領選挙への出馬を要請
- 北キブ州ベニでの住民殺害に、ADF に加え、FARDC 等の関与を示唆する報告書が発表される
- 25日、MONUSCO の戦闘ヘリコプターが、FARDC との対 ADF 合同作戦に参加、FARDC と MONUSCO の協力関係再開が具体化した
- 国際社会からの選挙支援、加はコンゴ(民)選挙サイクル支援プロジェクト(PAGEC)を通じて約2.6百万米ドル支援、英は約17百万米ドルの支援用意があると発表
- 30日、国連安保理は MONUSCO のマンデートを2017年3月31日まで更新する決議第2277号を全会一致で採択。コンゴ(民)側は MONUSCO 要員規模の縮小等、正当な指摘を無視されたことに不満を表明

1. 内政

(1) 公共機関に対する予算縮小

・16日、前日の15日に通常国会が開幕したことを受け、カビラ大統領は両院議長、マタタ首相、ボシャブ副首相兼内務大臣らを会議に招集、公共機関に対する予算の縮小を決定した。世界的な経済危機から国を守るのが目的。

(2) 通常国会の議案採択

・21日、今期通常国会では上院が13法案、国民議会が18法案の審議を行うことが採択された。

(3) ナンガーCENI 委員長が大統領選挙の憲法期限内実施は困難と発表

・18日、ナンガーCENI 委員長は「アメリカの声(Voix de l' Amerique)」のインタビューに答え、大統領選挙実施時期に関し、憲法期限内の実施は困難であり、憲法に規定された11月27日を過ぎてから行われると宣言した(18日 Radio Okapi(ウェブ))。

(4) 州知事・副州知事選挙の暫定結果発表。州知事当選者20名のうち15名を大統領多数派(MP)が占める

・26日、予定されていた21州のうち、南ウバンギ州を除く20州で州知事・副州知事選挙の投票が行われ、19州に関し暫定結果が発表された(北ウバンギ州では、すべての候補者の得票率が過半数に満たなかったため、再投票が行われる)。選出された19名の州知事の内訳は、大統領多数派(MP)が15名、独立候補が5名。女性候補の当選はなし。

・29日、北ウバンギ州で再投票が行われ、州知事、副州知事ともに MP 候補が当選した。

(5)野党の動向

ア キュング UNAFEC 党首所有のラジオ局を当局が閉鎖

・11日、オー・カタンガ州当局は、キュング UNAFEC 党首が所有するラジオ局 La Voix du Katanga (カタンガの声)を閉鎖した。当局は、閉鎖の理由を納付金未納と放送ライセンス未取得と説明したが、マルセル・キュング財務ディレクター(キュング党首の息子)はこれを否定した。

イ クリスチャン・ムワンド・タンガニーカ州知事候補が UNADEF 支援者との面会を何者かに阻止される

・13日、クリスチャン・ムワンド前カタンガ州財務大臣で、タンガニーカ州知事候補は、カレミイ空港への到着の際、出迎えに来た UNADEF 支援者(父親のシャルル・ムワンドが党首)との面会を何者かに阻止された。阻止したグループは、タンガニーカ政府特別委員補佐(Commissaire special adjoint)の私兵とみられる(13日付 RFI)。

ウ ジャン＝ピエール・ベンバ被疑者に有罪判決

・21日、国際刑事裁判所(英:ICC/仏:GPI)でベンバ元副大統領の判決が行われ、人道に対する犯罪及び戦争犯罪について有罪が言い渡された。刑は追って決定される。

エ カトウンビ前カタンガ州知事の動向

・23日、カトウンビ前カタンガ州知事が所有する農園に、大統領警護隊とおぼしき兵士数名が侵入、24日朝まで居座った。

・29日、カトウンビ前カタンガ州知事は、26日に投票が行われた州知事・副州知事選挙に関するコミュニケを自身のツイッターに掲載し、野党候補に対する数々の妨害工作等を強く非難、真相究明を求めた。

オ G7 が大統領統一候補としてカトウンビ前カタンガ州知事を選出

・30日、野党プラットフォーム G7 は、29日からキンシャサ市内で開催していた会議(カトリック教皇選挙の名をとり「Concrave」と呼称)で、モイズ・カトウンビ前カタンガ州知事に対し、同プラットフォーム統一候補として、大統領選挙への出馬を要請した。

2. 外交

(1)チバンダ外相が国連安保理で演説

・23日、チバンダ外相は国連安保理で演説し、選挙、武装勢力の無力化、政治の自由、MONUSCO 兵力の1700名削減などに触れた。

(2)トゥアデラ中央アフリカ新大統領がキンシャサを訪問

・7日、フォースタン・アーシャンジュ・トゥアデラ中央アフリカ新大統領がキンシャサを訪れ、カビラ大統領とバイ会談を行った。

3. 東部及び大湖地域情勢

(1)南キブ州でイア・ムトムボキが約100軒の家屋に放火

・1日、南キブ州ブニヤング村(Bunyangu)で、元来マイマイの一派である武装集団ライア・ムトムボキ(Raia Mutomboki)が、約100軒の家屋に放火した。住民は避難し、死者はいない模様。

(2)北キブ州におけるナンデ族とフツ族間の紛争解決に向けたミッションがマタタ首相と面会

・8日、北キブ州で激化するナンデ族とフツ族間の民族紛争の解決を目指し、カメレ UNC 党首率い

る両民族の代表ミッションが、マタタ首相と面会した。

・9日、MONUSCO は、両民族の紛争解決に向けたイニシアチブを歓迎するとし、カメレ党首による仲介を歓迎すると発表した(9日付 Radio Okapi)。

(3)ルワンダ虐殺の容疑者ラディスラス・ンタガンズワをルワンダへ移送

・20日、コンゴ(民)政府は、ルワンダ虐殺の容疑者ラディスラス・ンタガンズワを国連・国際刑事裁判所メカニズムに引き渡すため、ルワンダへ移送した。

(4)南キブ州で人権活動家が殺害される

・21日、南キブ州カバレ(Kabare)地区で、NGO 平和のための民衆組織(OPP)のコーディネーターを務めるカサリ氏(Evariste Kasali)が、自宅にて武装した集団に襲われ、銃撃を受けて殺害された。同氏は子どもの誘拐やレイプなどの分野で活動する著名な人権活動家。

(5)北キブ州ベニでの住民殺害に FARDC の関与を示唆する報告書が発表される

・21日、Groupe d'Etude sur le Congo(コンゴ(民))に関する研究グループ、GEC)は、北キブ州ベニ近郊における住民殺害に関し、ADFの他にFARDC第106連隊、RCD/K-ML(ニヤムウシ元外務・協力大臣が党首を務める政党)が関わっているとする報告書を発表した(25日付 Le Phare 紙)。

・23日、メンデ・メディア大臣兼政府報道官はこの報告書を恣意的で内容に信頼性がなく、FARDCの信用を失墜させるものと非難した。

(6)北キブ州マシシ地区におけるマイマイ・ニャトウラ掃討作戦

・21日、コンゴ(民)国軍(FARDC)は北キブ州マシシ地区 Basahli-Mokoto 集落において対武装勢力(マイマイ・ニャトウラ)掃討作戦を開始、村は武装勢力の支配から解放、もしくは、武装勢力が自ら退散した。しかしながら、同作戦によって、武装勢力は一旦は退散したものの、再度集落に戻って支配を再開したことから、村民は、FARDCが駐屯することを求めている。

・26日(日)以降、同集落内ムパチ(Mpati)で散発する FARDC と武装勢力連合(主に FDLR、マイマイ・ニャトウラ)による交戦により、FARDC側4名、武装勢力側12名が死亡した。

(7)MONUSCO 軍が FARDC との対 ADF 作戦に参加

・25日、MONUSCO のバイヨ一副司令官は、MONUSCO の戦闘ヘリコプターが、FARDC との対 ADF 作戦に参加し、FARDC と MONUSCO の協力関係再開が具体化したと発表した。

・ソコラ作戦を担当する FARDC の報道官によると、MONUSCO 軍は24日、北キブ州ゴマ市の北東、ウガンダとの国境に近いセムリキ(Semuliki)村の奥地で、ヘリコプターで ADF を攻撃した。

4. その他

(1)国際社会による選挙支援の動向

・4日、加は CENI に対し、コンゴ(民)選挙サイクル支援プロジェクト(PACEC)を通じて3.5百万カナダドル(約2.6百万米ドル)の選挙資金支援を行うと発表した。

・4日、コンゴ(民)訪問中の Nick Hurd 英国国際協力大臣は、コンゴ(民)の選挙プロセスに11.4百万ポンド(約17百万米ドル)の支援用意があると宣言した。

・2日、韓国を訪問していたナンガア CENI 委員長は、韓国の選挙委員会との議定書に署名した。コンゴ(民)の選挙における管理能力強化に向けた支援のための相互協力が目的。

(2)EU が人権尊重を訴え宣言を発表

・8日、EU はコンゴ(民)における EU 加盟国すべての大使による合意として、人権と自由の尊重を主旨とする宣言(ローカル)を発表した。

・10日、メンデ・メディア大臣兼政府報道官は記者会見で同宣言に関し、コンゴ(民)当局があたか

も、国際社会に比して人権について懸念していないかのように信じる、もしくは信じさせるのは公正ではないと反論、国際社会に対し建設的な協力の必要性を訴えるのは、我々の重要な権利であると述べた。

(3) EU 議会がコンゴ(民)に関する決議を行う

・10日、EU 議会総会はコンゴ(民)政府に対し、選挙における憲法の尊重を求める決議を行った。

(4) 北キブ州ゴマ市で市民団体 LUCHA メンバー18名が拘束

・15日、北キブ州ゴマ市で、1年前から拘束されている仲間2名(Fred Bauma と Yves Makwambala)の釈放を要求し、デモ行進を予定した「変化への闘争(Lutte pour le changement; LUCHA)」の青年活動家18名が、警察により拘束された。

・16日、拘束された18名は大審裁判所に送られ、その後19日に保釈金を支払い釈放された。

(5) MONUSCO マンデートの更新が全会一致で採択

・30日、国連安保理は MONUSCO のマンデートを2017年3月31日まで更新する決議第2277号を全会一致で採択した。

・コンゴ(民)国連常駐は、MONUSCO 要員規模の縮小に関し、安保理が承認しなかったことを含め、正当な指摘を無視されたことに不満を表明した。